

大雪山の素顔

「競争」より「協調」で叶えられた夢

層雲峡は上川町にある峡谷です。石狩川沿いに24kmにわたって続く断崖絶壁を、いくつかの滝が流れ落ちます。銀河の滝、雲井の滝など落差約100mの滝は、冬になるとアイスクライミングの名所になります。氷瀑を自分の力で登っていくアイスクライミングは、今は進歩した装備と技術で、一定レベルの教育を受けると簡単に楽しめるスポーツになりました。でも昔は、命を懸ける危険な挑戦でした。

1970年代、韓国の雪岳(ソラク)山国立公園に位置している土旺城(トワンソン)瀑布も、日韓山岳人にとってそのような挑戦の場でした。長さ320メートルの3段の土旺城瀑布には1969年から多くの山岳会が挑戦しましたが、多数の死亡者と負傷者を出しながらも成功しませんでした。1976年2月に訪韓した畠山参四郎氏をリーダーとする広島山岳会は、登攀2日目で下部と中部を登り、上部の3分の1地点まで登った時点でメンバーを集合せました。畠山さんは「土旺城瀑布を初登するのは我々にとって最後のチャンスであるが、韓国岳人の夢でもある。外国へ自由に入出りでき、装備にも充分恵まれた我々が奪って果たしてよいだろうか」と各メンバーの意見を求め、帰国することを決めました。そのあと、畠山さんは長い間交流していた韓国のアセント山岳会の金載根(キムジェグン)氏に、ワートホッグ3本をプレ



Nature Column (ネーチャーコラム)
自然ガイドなどで活躍する人々をリレーしています。

ゼントしました。ワートホッグとは、ドイツのサレワ社開発のスクリュウ形のアイスハーケンで、はめ込んで1半周回すだけで回収できる、当時としては画期的な装備でした。金氏はこの装備を友人、朴英培(パクヨンベ)氏に渡しました。二人ともこれが土旺城登攀の成功のカギだと思いましたが、高価であり輸出入も自由ではなかったため、沙川(モレネ)の鍛冶屋で複製品を作って準備しました。そして1977年1月12日、土旺城瀑布はクローニー山岳会の朴英培隊長と宋炳敏(ソンビョンミン)隊員により完登されました。登攀中、何度も危険な瞬間にありましたが、隊長の朴さんは成功要因として「巨大な氷柱である土旺城瀑布には、ワートホッグがなかったら上がれなかった」と述べました。



1970年代、頂上を目指して、だれより早く、高くと競争するのが当然だった時代。一人の配慮と譲歩で、多数の山岳人が夢を果たして生還することができました。私の父、宋炳敏もその一人です。この紙面をお借りして、畠山参四郎さんに心より御礼申し上げます。

旭岳ビジターセンター 宋 東憲

※登攀(とうはん) 〓 険しい岩壁をよじ登ること



タイのお正月は、1月じゃない!

東川町国際交流員(CIR)
スミッタ・エクワーニット

みなさん、お正月はどう過ごしますか?今年はいくまで例のないお正月になるかもしれません。いつもだと、家族団らんや新年を迎えながら、年越しそばを食べたり、初詣に行ったりするでしょう。しかし、タイのお正月は、実はまだなんです!

タイでは、カレンダー上の新年になると、テレビでよく見るように、有名な観光地などに人がたくさん集まって、日付が変わる瞬間を楽しくカウントダウンする人もいれば、私の家族みたいに、いつもと変わらず特別なこともなく、普通に寝て年越しをするという家庭も少なくありません。

そんな私の家でも、小さい頃からタイ旧正月の日には両親が朝から起きて、お寺に行つてから、家の前で大きな水タンクを用意し、水掛けの準備をしていました。毎年4月13日〜15日の3日間、タイ全国が祝日となり、最大のイベント「タイ旧正月ソングクラーン」が開催されるの



です。ソングクラーンというのは梵語に由来する「移動」の意味をもつ言葉で、太陽の軌道が12ヶ月の周期を終え、新たに白羊宮(おひつじ座)に入る時期を表します。そのため、昔からタイでは4月に新年を祝います。元々は、仏像や仏塔、年長者などの手に水を掛けてお清めをするという伝統的な風習が受け継がれて来たものですが、それが転じて、街で初対面でも通行人同士が水を掛けあって楽しむ「水掛け祭り」としても知られるようになり、一年で最も気温の上がる季節の暑さのぎとして親しまれてきました。バンコクはもちろん、各地で独自のイベントが開催され、これを目当てに多くの旅行者がタイを訪れるようになりました。

毎年、ソングクラーンになると、日本のお盆のように、里帰りして家族と過ごす習慣があります。4月の始めから、どこへ行つてもソングクラーンの音楽があちこちで流れます。デパートや会社などの入口付近には仏像と水が用意され、派手な花柄のシャツを着て出勤している人が普通にあります。それを見ると「新年が来たな」と感じて感じます。コロナが収まったらみなさんもぜひ、今年の4月も一緒にこちらにいるタイの留学生と「東川でソングクラーン水掛け祭り」でタイ旧正月気分を味わいながら楽しみましょう!